

ボウリング万博開幕

二〇一五年六月開催！

と言ってもこれは日本ではなくアメリカでのお話です。

正式には「ボウルエキスポ」と言って毎年六月に開催されるイベントです。「モーターショー」や「ゲームショー」のボウリングバージョンと思っただければわかりやすいかもしれませんね。

いったいなにをやるのかというと、ボウリングメーカーはもちろんのことボウリングに関する企業が一堂に集まって新作発表や新技術などを発表する場となります。各メーカーともコンセプトやどういった商品売り出そうとするのかなどボウリング業界が注目するイベントとなります。さらにはセミナーなども行われ最新のトレンドに関する情報を得る機会となり、単に新作発表というわけではなく、ボウリング場やプロショップなど経営者にとっても、今後のビジネスをどのようにしていくか、非常に意味のあるものとなります。

でも気になるはやつぱりボールですよね。毎月のようにいろいろなボールが発売されますが、このボウルエキスポで発表された商品や技術を搭載したものが、この夏以降順次発売をされていくことが多いのでかなりの注目ですよ！ただ、この新商品がみなさまのボウリングにプラスになるか吟味をしなければならぬので、プロショップとしても責任重大です。直接会場に行ったことはないのでは是非とも一

度行ってみたいと思っるところではあります。日本でもこのようなイベントがあればボウリングに対するイメージや人気も変わってくるかもしれませんね。
「bowlexpo」で検索していただければインターネットで情報を見ることができるので、気になる方はチェックしてみてください。

新商品情報

一つ目は「パラノーマルオーラ2015」です。二年前爆発的にヒットしたオーラシリーズ再デビュー品となります。カバーストックの添加物の組み合わせを変更することで、最新カバーストックを上回るフックポテンシャルを実現させた商品となります。



二つ目は「オプティマスソリッド」です。安定的な動きをし、軌道を読みやすいことで人気のオプティマスにソリッドカバーを組み合わせることで、さらなる安定感を実現させた商品となります。レイン攻略の上で、基準となるボールとして役立つと思われることと思います。

ぜひともお早めのご予約を！

〈ドリラーのひとりごと 第6話〉

表面加工

今回は表面加工についてです。大きく分けて、「曇り系」「光り系」の二パターンに分類できます。ではどのような違いがあるのでしょうか。

曇り系は、表面がザラザラした状態です。その結果、表面がレーンやオイルと接地する面積が大きくなります。そのためレーンとの面積が大きくなるのでオイルキャッチがよくなり、より曲がりやすくなりますが、その反面オイルがない状態で投げると、ボールがレーン手前で反応し、逆に曲がらないなんてこともあります。



一方光り系は、表面がピカピカした状態となります。そのため、レーンとの摩擦が小さくなり、レーンの奥までボールが走りやすくなるのが特徴です。しかし、ドライゾーンで過剰反応するところがあり逆にボールが曲がるなんてこともあるのでなかなか難しいです。

同じボールを同じレイアウトであけたとしても、表面加工が違えば曲がり幅や走り感が大きく変わってきます。

表面加工はどのように変えるかというと、マイクロパッドなどを使用して加工します。簡単に言えばヤスリですね。なお三二〇番より粗い表面は規定違反となります。

また、基本的にボール表面加工を試合中にする事ができない大会が大半ですので注意してくださいね。

次回からは、表面加工のやり方や使用する用品などの説明をしていきたいと思います。